

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	白河保育園
施設所在地	江東区白河1-7-1
法人名	江東区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

構成遊び

<テーマの設定理由>

昨年度、幼児クラスを中心にドミノや街づくり（積み木、ブロックを使用）など「つくる」ことへの興味の広がりを経験したことが、今年度、こどもたちの姿に表れている。積み木、ブロックの他に様々な素材に触れたり使用することで探究心が芽生え、「つくる」あそびがさらに広がり、発展、展開できるのではないかと考え、今年度も引き続きのテーマとした。

2. 活動スケジュール

第1回すくわくプログラム テーマ：「自由」 10月31日
第2回すくわくプログラム テーマ：「自由」 11月14日
第3,4回すくわくプログラム テーマ：「自由」 12月 5日 12月19日
第5回すくわくプログラム テーマ：「自由」 1月 9日
第6回すくわくプログラム テーマ：「自由」 2月13日
第7回すくわくプログラム テーマ：「街」 2月20日
第8回すくわくプログラム テーマ：「街」 3月19日

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・積み木…レンガ積み木、アクリル積み木（クリア、マット）、キューブ積み木、ドミノ 等
・ミニドール ・動物 ・LaQ ・レゴブロック 等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

3,4,5歳の異年齢グループで行い、各グループ6人編成で取り組んだ。
主に白木の積み木を使い、こどもたちがどのようにイメージを広げていくのか声をよく聞き、そこにこどもたちの声から出てきたミニドールや動物を取り入れた。
じっくり取り組むことができるよう1日1グループずつ行い、場所は広々使えるようホールを使用した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

各グループまずは作りたい物を発表してもらい、1人ひとりの声をよく聞いてから始めた。
自分たちのイメージを引き出しその後活動に向かえるようにした。異年齢で行っていたため5歳児の構成力への憧れが3,4歳児の意欲を引き出し、教え合ったり助け合い共同でひとつの作品を作りあげる姿も見られた。保育士はこどもたちの発想を形にするための最小限の援助を心がけ見守りと共感的な言葉かけを主体とすることで、こどもたちが主体となって遊びを広げていけるようサポートした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

すくわくの時間に留まらず、各クラスに戻ってからも遊びを再現・継続しようとする意欲の継続が見られた。異年齢で行うことにより、刺激を受けて遊びが広がっていた。少人数ずつ行うことで保育士が一人ひとりの呟きや細かな行動をしっかりとらえ、適切に関わりができたように思う。また、十分な遊具の量があることでこどもたちが次々に湧き出るイメージを即座に形にする没入感ある遊びへと繋がった。遊具の充実と見守りの質が主体的な構成遊びを支える重要な要素となったように思う。